令和８年２月１７日
（２０２６年）

保護者の皆様

吹田市立山田第三小学校
校　長　　眞部　美保

学校教育診断アンケートの結果について

平素より、本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

昨年１２月に実施した学校教育診断アンケートにおいては、３０４名の保護者の皆様からの回答をいただきました。家庭数が３３０件ですので、回答率は約９２％となります。ご協力いただきましてありがとうございました。

さて、アンケート集計結果につきまして、「そう思う」及び「どちらかというとそう思う」を肯定的な回答とし、８０％以上の項目を「概ね良好」と捉え、８０％未満の項目を改善が必要なものとしてまとめました。

結果は、全教職員で共有し、学校教育活動や学校運営において引き続き、よりよい学校になるよう改善に努めてまいります。結果の詳細については本校ホームページにも掲載しておりますのでご覧ください。

（１）児童におけるアンケート結果のまとめ（低学年）

○１３項目中、全ての項目で肯定的な回答の割合が８０％以上でした。そのうち、８項目は肯定的な回答の割合が９０％を超え、特に「先生たちは、私たちの話を聞いてくれる」や「運動会や音楽会などを家族にみてもらえる行事は楽しい」等の項目は、肯定的な回答の割合が９５％以上でした。

○「よく外で遊んでいる」の項目は、肯定的な回答の割合が８２％で、前年度から８％向上しました。

▽「授業でわからないことについて、たずねやすい」の項目は、肯定的な回答の割合が８３％（前年比－２％）でした。概ね良好な結果ではあったものの、他の項目に比べて低い結果です。

「授業でわからないことについて、たずねやすい」の項目の結果について、統合して新しい環境になったことにより、前年度の在籍が山田第三小学校か山田第五小学校かに関わらず、思ったことを自由に発言したり、わからない問題に対して「わからない」と表出したりすることをためらってしまう場面があるのではないかと考えます。

多くの学級で実践している「安心ルール」や「いいところ見つけ」、「ほめほめ言葉」等の取り組みは、低学年の児童にとって受け入れやすい指導内容のため、日々の教育活動にもこれらの視点を取り入れることで、児童が安心して発言できる学級づくりを進めていきます。

「よく外で遊んでいる」の項目が前年度より大きく向上したことは、統合により交友関係が広がったことの良さの表れだと考えています。

一方で、外で遊んでいる児童の割合については、昨年度と引き続き、課題といえます。SUN ネット端末の利用や図書室での読書など、児童の休み時間の過ごし方は多様化していますが、体力の維持向上や仲間づくりにも大きく関わるため、「体を動かすことが楽しい」と思えるような学級・学年の取り組みを、低学年のうちから考えていきたいと思います。

（２）児童におけるアンケート結果のまとめ（高学年）

○１４項目中、１１項目で肯定的な回答の割合が８０％以上でした。そのうち、９項目は肯定的な回答の割合が９０％を超え、特に「授業はわかりやすい」や「命の大切さや社会のルールについて学んでいる」、「運動会や音楽会などを家族にみてもらえる行事は楽しい」等の項目は、肯定的な回答の割合が９５％以上でした。

○「学校に行くのは楽しい」の肯定的な回答の割合が９１％で、前年度から８％向上しました。

▽「学校には相談しやすい先生がいる」の肯定的な回答の割合は８１％でした。概ね良好な結果ではあったものの、他の項目に比

べて低い結果です。

▽「授業でわからないことについて、たずねやすい」の肯定的な回答の割合が７９％、「クラスでは、思っていることが言いやすい」の肯定的な回答の割合が７８％でした。

▽「よく外で遊んでいる」の肯定的な回答の割合が６３％でした。前年度から１２％向上しましたが、依然として低い結果です。

高学年も、肯定的な回答が多い結果でした。「学校に行くのは楽しい」の項目について、前年度から大きく向上していることについて、前年度の在籍が山田第三小学校だった児童だけでなく、山田第五小学校に在籍していた児童も学校生活を楽しんでいることの表れだと考えています。

一方で、「授業でわからないことについて、たずねやすい」、「クラスでは、思っていることが言いやすい」については、統合により、前年度に比べて１クラス当たりの人数が増えたことが要因の一つだと考えています。困ったことやわからないことを安心して聞きあえるような学級や、教員と児童とのより良い関係づくりを進めていく必要があります。

外で遊んでいる児童の割合については、低学年と同様に課題といえます。SUN ネット端末の利用や図書室での読書等、休み時間の過ごし方が多様に変化していることに加え、委員会活動や行事による学年の役割等が原因として挙げられると考えています。体を動かすことの大切さを考えさせるとともに、児童が「体を動かすことが楽しい」と思えるような学級・学年の取り組みを考えていきます。

＜保護者におけるアンケート結果のまとめ＞

○１６項目の学校運営・教育活動に関する質問のうち、全ての項目で肯定的な回答の割合が８０％以上でした。そのうち、６項目は肯定的な回答の割合が９０％を超え、特に、「学校行事は、子どもたちに意義があるように工夫がされている」の項目は９３％が、「学校は、学級・学年活動や行事を通して、クラスの仲間づくりができている」の項目は９２％が肯定的な回答でした。

○「学校は、施設・設備などが点検されており、安全な学校環境が整っている」の肯定的な回答の割合が８２％で、前年度から６％向上しました。

▽「学校は、児童の人権意識や人権感覚を高める指導を行っている」の肯定的な回答は、前年度より３％増えて８０％でしたが、他の項目に比べて低い結果です。

児童が学習や行事に取り組む姿に関することについては、昨年度に引き続き、肯定的な意見が多く見られました。PTA の協力により、保護者の皆様に児童の成長をご覧いただく機会を作ることができ、たいへんうれしく思います。

また、保護者の皆様からのご回答から、前年度に比べ、「わからない」の回答が大きく減少しました。「学校は、施設・設備などが点検されており、安全な学校環境が整っている」の項目では１９％から１０％に、「学校は、問題行動防止のための指導や問題が起こったときの対応を適切におこなっている」の項目では１７％→１２％に減少しました。これは、学校の取り組みが保護者の皆様に伝わっている成果だと考えています。引き続き、学校行事や学習、生活等の教育活動全般について、ホームページや学校だより、学年・学級だより等でお伝えしてまいります。

人権教育については、教育活動のあらゆる場面をその機会と捉えています。基本的人権（自由権、平等権、参政権、社会権等）や人種、ルーツ、LGBTQ 等、その人がその人らしく生きるために必要な多様性についての学習や福祉教育、環境教育や国際社会理解教育、平和教育等に取り組んでいます。また、人権教育を一層充実したものになるよう、地域・保護者と連携し、「人権の花運動」や「パラリンピックキャラバン」、「いのちの授業」等の出前授業も実施しています。人権に対する考えを深める為、人権週間や平和週間には標語や絵画、作文などの人権学習を重点的に進めています。

いじめや問題行動については、「いつ・どこででも起こり得るもの」としてとらえ、本校のいじめ防止基本方針に基づき、担任・学年だけでなく、校長・教頭・首席・生活指導主担者等が情報を共有し、組織的に対応をしています。状況に応じ、スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラー、外部機関とも連携します。日常的に教職員と児童のコミュニケーションを密にするとともに、児童の不安や困り感の把握に努めてまいります。いじめ事案が発生したときには、複数体制で対応に当たり、保護者の皆様のご理解とご協力をいただきながら継続的に指導を行っていくなど、学校全体で対応してまいります。友達を傷つけてしまった場合は、それを認め反省し次にいかすことで成長につなげ、友達に傷つけられた場合は、謝罪に対し不寛容にならず次にいかすことで人権感覚を高め、共に成長する機会となるよう見守ってまいります。

＜記述事項のまとめ＞

よりよい学校にするためのご意見をお書きいただくようにお願いしたところ、下記の事項でご回答をいただきましたので、学校としての考えを記載させていただきます。

◇教育活動に関するご意見

昨年度１年間は、山田第三小学校と山田第五小学校両校それぞれの学校教育活動の良い部分を取り入れ、今年度の教育課程を組んでまいりました。今回、具体的な行事や取り組みを追加してほしいという要望をいただきましたので、現在、本校で実施しています取り組みを振り返り、学校として実施可能かどうか、検討してまいりたいと思います。

また、今年度は統合１年目ということで、教員定数に加えて、大阪府から加配教員を配置していただきました。学校といたしましても、この加配教員の配置が継続されるよう依頼しているところです。また、学級数につきましても、教職員の追加配置をいただき学級を増やして編制したいところですが、公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律（義務標準法）に基づいて教員が配置されるため、ご理解いただければ幸いです。

◇施設に関するご意見

今年度、本校はＡ棟のトイレ改修を行っていただきました。この改修工事は本来、来年度から実施されるものですが、本校は統合１年目ということで他校に先行して実施されました。校内の施設の改善や安全についてはその都度市へ要望をしております。何かお気づきの箇所がございましたら、いつでも学校までご連絡ください。

◇登下校の安全面に関するご意見

学校、PTA、地域、警察と連携し、通学路を含め地域の安全のため、要望してまいります。現在の通学路は、昨年度に安全面や学校までの距離を考慮し、保護者の皆様に幾つかのルートを提案させていただいたものです。あくまでもこれらのルートは「推奨」としていますので、各ご家庭でご判断いただければと思います。

◇保健、食育に関するご意見

トイレの環境改善については日々努めているところですが、衛生用品をすべて学校で継続的に配備することは難しい状況です。必要な時には保健室で対応させていただきます。また、お子様の成長のことで何か気になることがある場合は、担任まで個別にご相談ください。

◇情報・通信に関するご意見

SUN ネット端末ついては、吹田市のデジタル・シティズンシップ教育の方針に基づいて使用しており、具体的な使い方につきましても学校でルールを決めて指導しているところです。いただきましたご意見は貴重なアドバイスと捉え、検討してまいります。

◇児童の指導に関するご意見

学校は、お子様の健全な成長を願い、日々指導・支援しております。問題行動が生起した場合は、なぜそれが指導される対象になるのか、何が大切だったのかを児童が心から納得できるよう、人権に配慮しながら丁寧に指導してまいります。学校と保護者の皆様がお互いに手を携え、お子様の成長を温かく見守っていければと考えております。何かご心配なことがある場合はいつでもご相談ください。

◇PTA に関するご意見

保護者証につきましては、ご指摘のとおりです。来年度は PTA が作成するのではなく、学校で作成し、全ての保護者の皆様に配付させていただきます。PTA 会員の皆様には保護者証とあわせてどのような形で配付させていただくか、現在検討中です。

◇その他

その他にいただいたご意見につきましても、あらためて検討してまいります。また、ご意見とは別に感謝の言葉や労いの言葉も多数いただき、教職員一同大変嬉しく拝読させていただきました。今回のご意見は学校教育活動の糧とし、子どもたちに還元してまいります。

このたびは、アンケートにご協力いただきましたこと、心より感謝申し上げます。今後も本校の状況を見据えながら教育活動に取り組んでまいりますので、引き続きよろしくお願い申し上げます。